

# 2023年度 しぶち一活動報告書

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

## 【目次】

1. 「しぶち一」3つの活動の概要 .....	2
①憩い	
②ドキドキづくり隊	
③わくわく探検隊	
2. 3つの活動における成果と課題 .....	3
①憩い	
A 成果	
B 課題	
②ドキドキづくり隊	
A 成果	
B 課題	
③わくわく探検隊	
A 成果	
B 課題	
3. 『しぶち一』全体の活動報告 .....	6
A イベント活動と企業の協力について	
B その他の団体や地域との連携状況	
C 23年度に実施したイベント・ハイキング一覧	

## 1 『しづちー』3つの活動の概要

当団体『しづちー』は、不登校状態にある子どもの支援を中心に、シングル家庭・友達づくりが苦手など、生きづらさを抱えている子どもたちを支えるために、「憩い」・「ドキドキづくり隊」・「わくわく探検隊」という3つの活動を行なっている。

### ①憩い(いこい)

開始時期: 2021年5月

対象: 不登校の状態にある小中学生

頻度: 週3日(月・水・金) 9:00～13:30

料金: 1日600円

内容: 1日単位で利用できるフリースペース型の居場所活動。

目的: 学校の代わりに通い、朝起きて人と触れ合規則正しい生活を維持しながら、心身を癒して、前向きな精神を育む。

### ②ドキドキづくり隊

開始時期: 2020年8月

対象: 不登校やひきこもりの状態にある小中学生

頻度: 週1日～月1回

料金: 1回1,500円(交通費込)

内容: 不登校や引きこもりの状態にある子どもたちの家に訪問し、プログラミングでゲームやブロックで作った作品を動かし遊ぶ。

目的: 友達との交流を断ち、家族のみの関係に閉じこもっている子どもたちとコミュニケーションをとることを目的としている。

### ③わくわく探検隊

開始時期: 2020年3月

対象: 不登校・シングル家庭で体験が少ない・敏感すぎる気質・ケアラーなど、様々な困りごとや生きづらさを抱えた小中高生

頻度: 月2日(基本日曜日) 10:00～16:00

料金: 無料(交通費や施設入館料は参加者負担)

内容: 大阪市近郊の自然豊かな場所へハイキングに出かける活動。

目的: 自然環境が生体的に心身を癒してくれるという効果を利用し、ストレスによる心身の疲れを癒し、運動し、楽しい体験を通じて仲間をつくる。体験や好奇心の提供といった側面もある。

これらの活動は、子どもたち個々の状況によって「ひきこもり状態であれば①」「支援者がいれば居場所に行けるようになれば①か③(もしくは両方)」など、子どもが自ら選んで参加できる。

## 2 3つの活動における成果と課題

23年度の夏以降より『憩い』への参加希望者が急激に増えているが、人員不足やスペースが足りないなどの理由から多くの子どもたちを受け入れられないため、現在は募集を打ち切っている。

全体の課題としては、ボランティアの継続と資金面がある。特にボランティアが集まらない、且つすぐに辞めてしまう問題には対処できていない状況にある。

### ① 憩い(いこい)

#### A 成果

- 夏以降より小学校高学年や中学生が参加し、男子同士の仲間意識が強くなった。衝突もあるが、それを乗り越える『人間関係の複雑さを学べる場』に発展しつつあると考えている。
- 学習時間を設けることも検討したが、子どもたちが望んでいないために断念した。しかし、「憩いは好きな事をする場所」とすることで、しぶちー以外の学習の場へ通う子どもが増え、何にも縛られず過ごせる居場所の必要性をあらためて実感している。
- 前年度までは、「しっかり受け止め、困りごとを察してくれる支援者ありき」となっていたが、子どもたちどうしで考えて実行する「自立した行動」が増えている。
- 「あれしたい・これしたい」と子どもたちからの提案が多い。とくに制作好きな子どもの発想力や創造力は飛躍的に伸びていると感じている。
- さまざまなイベントに誘うことで、約2年かけて憩いに通えるようになり、1人でハイキングに参加できるようになった子どももいる。

参加者	総参加者19名 毎回～月2回位利用:10名 月1～年数回利用:9名
企画・イベント	・鶴見緑地プール ・ハロウィンイベント ・さくらサーカス観覧 ・高津宮とんどお手伝い ・バルーンアート体験
特別講師	・絵画教室 ・押し花アート ・バルーンアート
支援体制	常勤職員:1名/1日 ボランティア:0名～2名/1日

#### B 課題

- ゲームを取り入れることで、憩いの活動にすんなりと参加できる子どもが増えたが、ゲーム以外の活動に興味を示すことが難しい子どもも多い。

- 人数が増えて更に賑やかになったが、静けさを望んでいる子どもにとっては、落ち着かない環境となってしまった。大声を出さずにはいられない子どもと自分のスペースを守りたい子どもがいかに共存して行くかが課題である。
- 人員不足とスペースの問題から参加希望者全員を受け入れられない状況にある。
- 継続参加するボランティアの確保が難しく、1年間続けて参加したボランティアは1名のみであった。ボランティア応募者は「休職中だけ」「時間が空いた時だけ」というものが多く当日の欠勤も頻繁にあり、子どもたちが名前を覚えないうまま辞めてしまうケースが後を立たない。また、「子どもに懐かれない」「子どもと遊ぶことは楽しそう」という気持ちで応募するも、実際は傾聴力・共感力・忍耐力が必要な現場であり、「休みたければ自由に休んで良い」という環境でも無いことから辞めるのであろうと考えられる。

## ② ドキドキづくり隊

### A 成果

- 毎週訪問している子どもたちとは長く関わっているため、楽しく一緒に遊べる人と認識され、リラックスした時間を提供できていると考えている。
- 週1日ごとに家庭を訪問しているため、子どもの気分や体調の変化を直に見ることができている。

参加者	4名 ほぼ毎週:2名 時々:2名
支援体制	訪問支援員:1名

### B 課題

- 訪問を続けながら課題の解決方法を探ろうと模索しているが、子どもたち自身の心身の浮き沈みが激しく、新しい一手に踏み出せない状況にある。
- 週に1回、保護者とも顔を合わせることで、保護者自身への支援が必要であると感じることがあるが、適切な支援を紹介できない状況にある。
- 家庭訪問できる支援員を増やしたいが、子どもたちそれぞれに適切な対応方法が異なり、個人の共感力・対応力の深さが求められるため、ボランティアで補うことは難しい。

## ③ わくわく探検隊

### A 成果

- 『憩い』に通う子どもたちの多くが、『わくわく探検隊』の活動にも参加している。
- 中学校に進学した子どもたちも時々参加し、支援者との会話を楽しんだり、新しく入った子どもたちとの親交を深めている。
- 長く通う子ども同士が仲良くなったり、憩いで仲良くなった友だちとハイキングを楽しんだり、友だちを作る場としても発展している。

- 「わくわく探検隊」のボランティアは継続して参加してくれている。参加者からも「〇〇ちゃん」と親しみをこめて呼ばれ、子どもたちに寄り添った関わり方をしてきている。

参加者	総参加者：17名
支援体制	職員：1名 ボランティア：0名～2名/1回

## B 課題

- 特性上の理由から危険を確認せず飛び出してしまう子どもへの対処について。24年度からは、大人3人で引率する体制を取りたいと考えているが、ボランティアが集まらなかったり落下の危険があるような場所に行く場合は、参加は受けないようにせざるを得ない。
- 先延ばし傾向の強い子どもは、ハイキング当日まで参加するかどうかを決めることが難しい。しかし、人数がわからなければ、ボランティアを何人お願いすれば良いかの目処を立てることが出来ない。

## 3 『しぶちー』全体の活動報告

### A イベント活動と企業の協力について

#### ①夏やすみキャンプ

2023年8月22日・23日（一泊2日）、子どもたちが望んでいたキャンプを『関西サイクルスポーツセンター』で実施。「憩い」「わくわく探検隊」の垣根をこえて、子どもたちがふれ合いながら良い思い出を作ることが出来たと考えている。実際に参加した子どもたちは、「キャンプ面白かったな～」「神キャンプ過ぎた」「また行きたい」など、夏が過ぎても思い出を語り合っている。

キャンプ参加者	子ども:16名 保護者:3名
支援体制	職員:1名 ボランティア:3名

## ②タイルセラピー

協力:同友会・中村タイル

体験内容:タイルを使ったミニチュアスタジオ・貯金箱づくり

2023年8月11日に大阪府中小企業の集まり「同友会」からご援助いただき、中村タイル主催による「タイルセラピー」イベントに参加することが出来た。

子どもたちにとって、さまざまな色や形のタイルを選びそれを並べて作品をつくることは、とても楽しく良い経験となった。

タイルセラピー参加者	子ども:10名 保護者:5名
------------	-------------------

## ③ホテルお仕事体験

協力:W大阪

体験内容:ホテル見学、ナプキンたたみ、ケーキデコレーション、作ったケーキを食べる

2023年11月19日に「W大阪」よりホテルのお仕事体験イベントにご招待いただいた。

この企画は親御さんも招待され、豪華なホテルの内側を見学することができた。子どもたちも「豪華やな～」と非日常の交換を思う存分満喫していた。

ホテルお仕事体験参加者	子ども:7名 保護者:3名
-------------	------------------

## ③クリスマス会

料理協力:小高様・岩崎様 サポート協力:中央区社会福祉協議会

体験内容:ゲーム大会、イタリアン料理体験、実食、自由遊び

2023年12月17日は「クリスマス会」を高津宮いやさかの家で開催した。

人狼やカードゲーム大会の他に、イタリアンで働く料理講師による料理体験も実施。完成した料理をみんなでいただいた。料理作りに興味のある子どももいるので、このような体験を増やして行きたいと考えている。

みんなでゲームは、人数が多く時間が短かったため、全員が楽しめなかったように感じた。今後は、「みんなで遊びたい子」「黙々とオンラインゲームを楽しみたい子」と分けて開催するなどの工夫をして行きたい。

クリスマス会参加者	子ども:16名
支援体制	職員:1人 ボランティア:1人 料理講師:2人 中央区社会福祉協議会:2人

## B その他の団体や地域との連携状況

### ①中央区子ども居場所連絡会

中央区で子どもの居場所活動をしている団体や中央区社会福祉協議会やそれを応援する企業が連携・協力するネットワーク。2023年12月9日に、北御堂にて1000人以上に食料品を提供する「フードパントリー」を行なった。

当団体の代表は、中央区居場所連絡会の幹事の1人として参加している。

### ②天王寺区子ども居場所連絡会

天王寺区で子どもの居場所活動をしている団体や天王寺区社会福祉協議会が連携・協力するネットワーク。

2023年は、当団体は関わる事が少なかったため、2024年は連携を深めたいと考えている。

### ③中央区社会福祉協議会

中央区社会福祉協議会とは、生活支援コーディネーターやウォーキングをしてフレイルを防ぐ「ももフレ」のご老人の方々の協力のもと、共同でハイキングを実施した。

また、W大阪や料理講師と繋げていただくなどの協力関係も築けている。

### ④タリーズコーヒーや高津宮(神社)

2023年度もタリーズコーヒー天王寺公園店協力のもとで、ハロウィンイベントを実施した。パンケーキのデコレーションやお客様への試飲の提供などを体験し、お菓子とお土産をいただいた。

また、憩いの活動場所である高津宮の歴史ある行事「とんど」に参加し、伝統的な体験や、年配の方々と交流することができた。

### ⑤2023年度の体験を支えて下さった一般の講師陣

- ・絵画教室講師:下地様
- ・バルーンアート講師:浦田様
- ・押し花アート講師:中村様

⑥区役所との連携

中央区や天王寺区役所の「スクールソーシャルワーカー」や「サポートネットワーク」の方々が『憩い』を見学、しづちーの活動を周知していただいている。

C 23年度に実施したイベント・ハイキング一覧

月	行き先・イベント名	活動名
4	芦屋ロックガーデン	わくわく探検隊
5	生駒山麓アスレチックフィールド	わくわく探検隊
6	私市ロッククライミング	わくわく探検隊
	箕面公園	わくわく探検隊
7	富田林サバーファーム(ブルーベリー摘み)	わくわく探検隊
	桜サーカス観覧	憩い
	箕面公園	わくわく探検隊
8	夏休みキャンプ 関西サイクルスポーツセンター	しづちー
	タイルセラピー(中村タイル協賛)	しづちー
9	おじいさん・おばあさんとハイキング トレジャーハンターIN千島公園 (中央区社会福祉協議会合同企画)	わくわく探検隊
10	上ノ太子みかん狩り&芋掘り	しづちー
	生駒山麓アスレチックフィールド	しづちー
月	行き先・イベント名	活動名
10	ハロウィンイベント(タリーズコーヒー)	憩い
11	芦屋川ロックガーデン	わくわく探検隊
12	クリスマス会(料理体験あり)	しづちー
12	子ども忘年会(バルーンアートあり)	しづちー
1	高津宮トンド	しづちー
1	箕面公園	わくわく探検隊
2	池田カップヌードルミュージアム	わくわく探検隊
3	神戸どうぶつ王国(2回に分けて実施)	わくわく探検隊 憩い